

令和 5 年 6 月 2 日

浜田市議会議長

笠田 卓

様

議員名 牛 尾 昭

## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 5 年 5 月 27 日 (水) : ~ :

2. 研修内容

住民価値を創造する地方議会へ

3. 研修先

日本生産性本部

4. 調査経費

5,385 円

(経費内訳 5,000 円、385 円)

5. 調査研究活動の概要

別紙にて



研修先、日本生産性本部

目的、「政策サイクル推進地方議会フォーラム」報告会  
～住民価値を創造する地方議会へ～議会からの政策サイク  
ルと成熟度評価の意義～

期間、令和5年5月27日。オンライン研修会。

基調講演、北川正恭氏、「善政競争出来る地方議会を目指す」

問題点提起、江藤俊明、大正大学社会共生学部教授。

説明、

日生本部の取組みと地方議会成熟度評価モデルのについて  
実践報告、「福島県会津若松市議会」

会津若松市議・制度改革委員長、高梨浩氏

～会津若松市議会における議会評価の取組み～

実践報告、「長野県飯田市議会における地方議会評価モデル  
の導入。」

飯田市議会議長、井坪隆氏。

事例報告「鹿児島県知名町議会」

「はじめの一步～成熟度議会評価から始まった議会改革」

知名町議・知名町議会副議長、外山利章氏。

## パネルディスカッション

「住民価値を創造する地方議会へ」

パネリスト 江藤俊明、大正大学教授。

高梨浩、会津若松市議会

井坪隆、飯田市議会

外山利章、知名町議会

コーディネーター 千葉茂明、日本生産性本部

考察、トップランナーの議会を支える議会事務局は、負担感はどうかの問いに、大いにあったと思う。事務局長がチーム議会をテーマにリーダーシップを発揮した。モチベーションは、局長からの指導を受けて局員に浸透したとのことであった。ここで、議会が気をつけることは、かつて北海道のある町を視察したときに、トップを維持のために局長以下が頑張っていると推察した経験がある。議会の名誉のために、一番やってはいけないことは、局員が議会の犠牲になることである。この本末転倒を避けて、チーム議会の実現こそが、肝である。以上報告します。牛尾昭。